

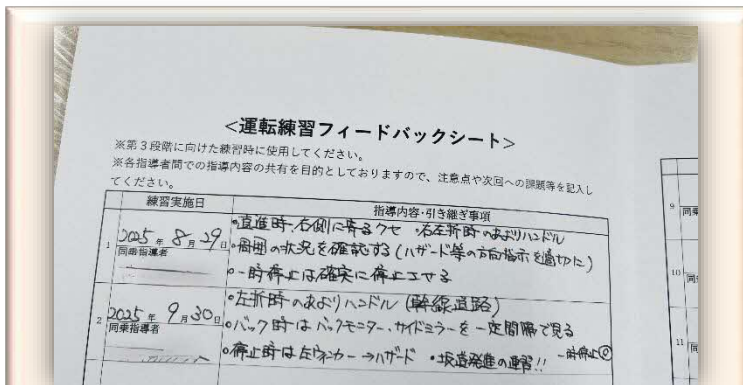
新人ドライバーの育成と 車両事故防止に関する取り組み

背景(課題・ニーズ)

近年、業務に必要な準中型・中型免許を所持していない**新人ドライバーの入社が増加**しています。入社後に免許を取得してドライバーとして登用されるケースが多いものの、**運転経験が浅く中型車両の操作に不慣れなことから、車両事故が多発**しました。この状況を踏まえ、**車両事故の発生を防止するために定例の事故防止対策会議を開催**し、会議で決定した改善策を順次実行しました。

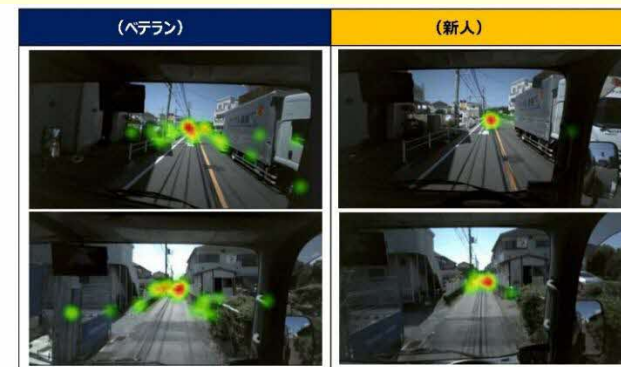
取組内容

1. 車幅感覚の習得を目的に、車庫内に**ソフトコーン(視線誘導標)**を設置し、特に苦手とされる**バック運転の練習**に重点的に取り組みました。



2. ドライバーごとの**運転フィードバックシート**を作成し、**緑ナンバー車**における教育規定時間を超えて管理職が同乗指導を行い、運転後にフィードバックを実施しました。

3. **アイトラッキング装置**を用いてベテランと新人の**視線の違いを可視化**し、新人が見落としやすいポイントを専門家に分析して貰い、データを全社で共有しました。



やってみての効果

2024年度上半期の事故件数：18件(重大事故なし)

2025年度上半期の事故件数：10件(重大事故なし)

(事故件数には電柱やミラーへの接触などの軽微な事故も全て含まれています)

44%
減少!

今後の目標・展望

今後、運転未経験者の入社が一層増加すると予想される中、**教育体制の整備を進め、誰もが安心して運転できる環境の構築**を目指します。引き続き、**車両事故ゼロの実現**を目標に、安全運転教育と指導体制の強化に取り組んでまいります。